

ゲルカルチャー

使用 方 法

- ① ゲルカルチャーをネットに入れ、エアレーション付近に吊るすか通気管にくくりつけるなどの方法でご使用ください。（溶け残りの回収が容易になります。）
- ② 静置培養や小規模の培養では、ゲルカルチャーをそのまま添加し、培養後にメッシュフィルターで濾別することもできます。

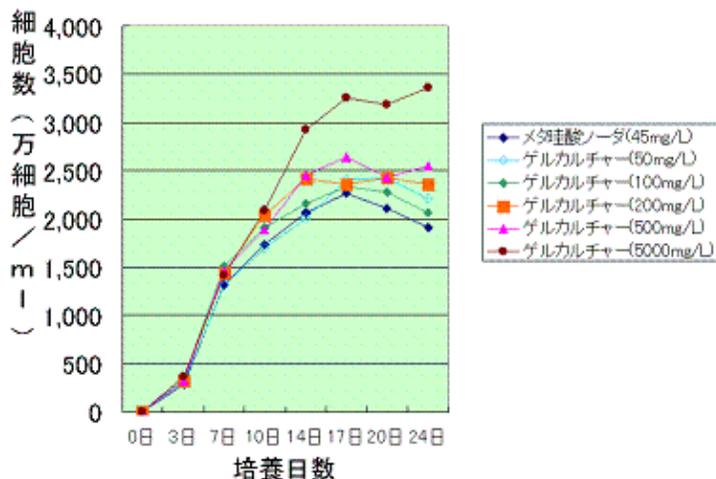
使 用 例

培養海水1トンに藻類培養液KW21を1リットル添加し、ゲルカルチャー350gをネットに入れて培養海水中の水流の多い場所に吊るしてください。

【使用量の目安】ゲルカルチャーと藻類培養液KW21との併用使用濃度

	ゲルカルチャー海水1Lあたりの使用量	KW21海水1Lあたりの使用量
浮遊ケイ藻	0.1g～5.0g(推奨0.2g～0.5g)	0.5ml～1.0ml
付着ケイ藻	0.01g～5.0g	0.05ml～0.1ml

藻類培養液KW21(1%)とゲルカルチャーによる
キートセラスの培養試験結果



・KW21の1000倍希釈海水にケイ酸源としてゲルカルチャーを用いたときの、ケイ藻の増殖曲線。

・ゲルカルチャーはバラの状態です。

・対象としてメタケイ酸ソーダ区を設けた。

・ゲルカルチャー100mg/L以上の添加で増殖促進、ピーク細胞の増加、細胞維持期間の延長効果。

・ゲルカルチャーが多いほど顕著な効果が期待できる。

使 用 上 の 注 意 点

- ① ケイ酸の水中への放出量は、水流との接触が多いほど、また水温が高いほど多くなりますので、使用最適濃度は使い方により異なります。
- ② 溶け残ったゲルカルチャーは、軽く水洗したあと、ポリ缶・ジップロックビニール袋などに湿った状態で密封し冷暗所保管しておけば、再利用できます。